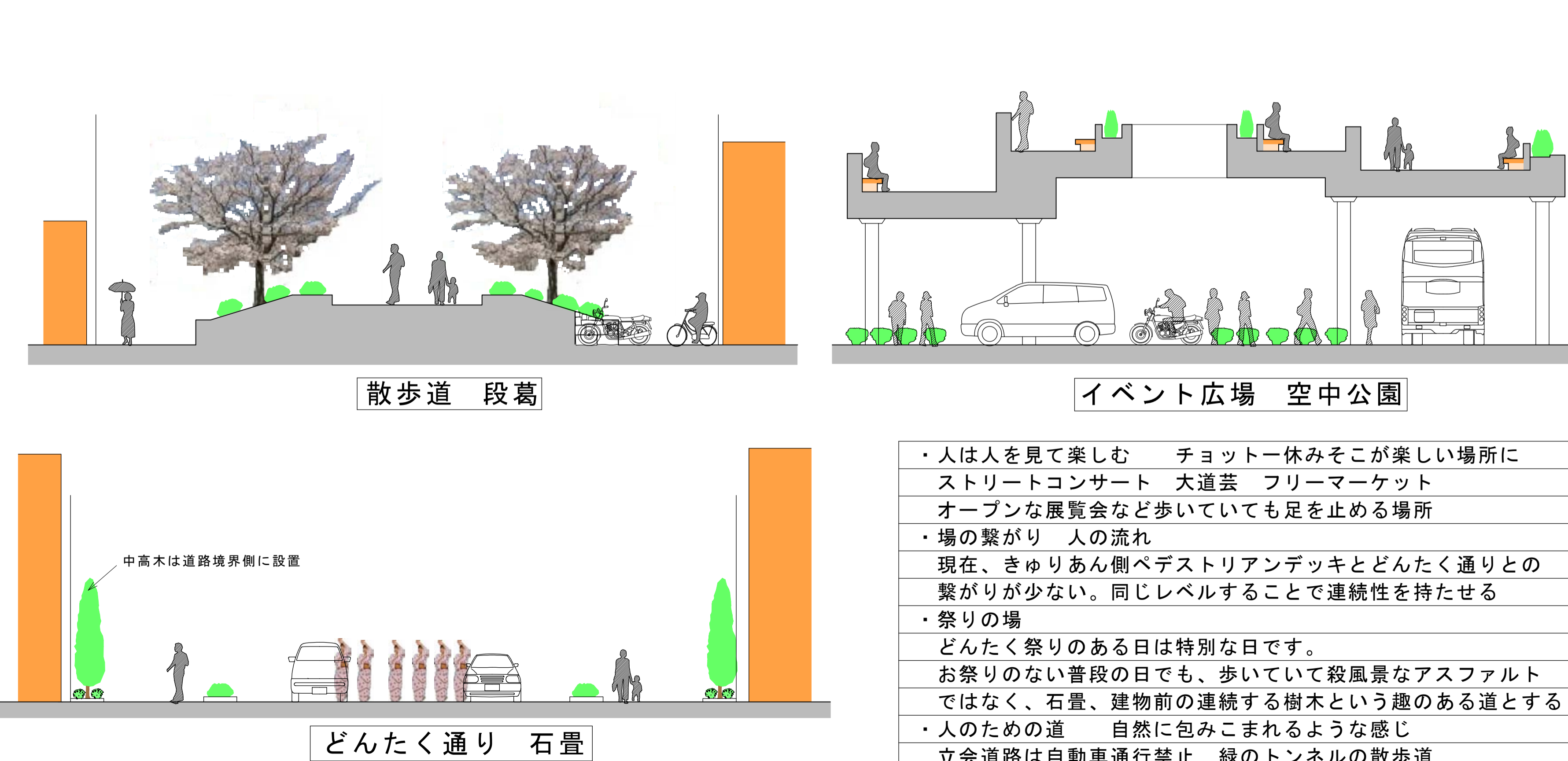
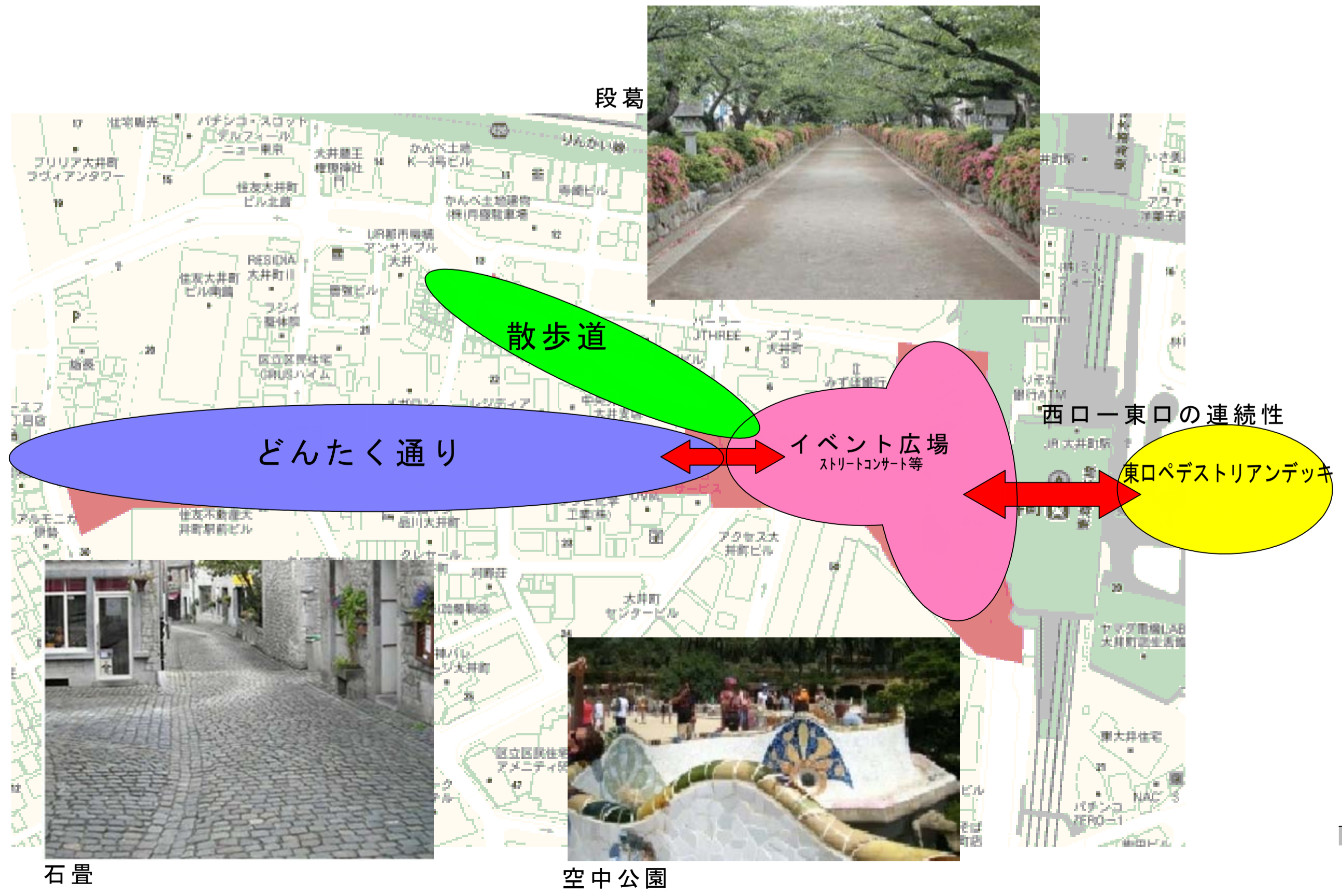
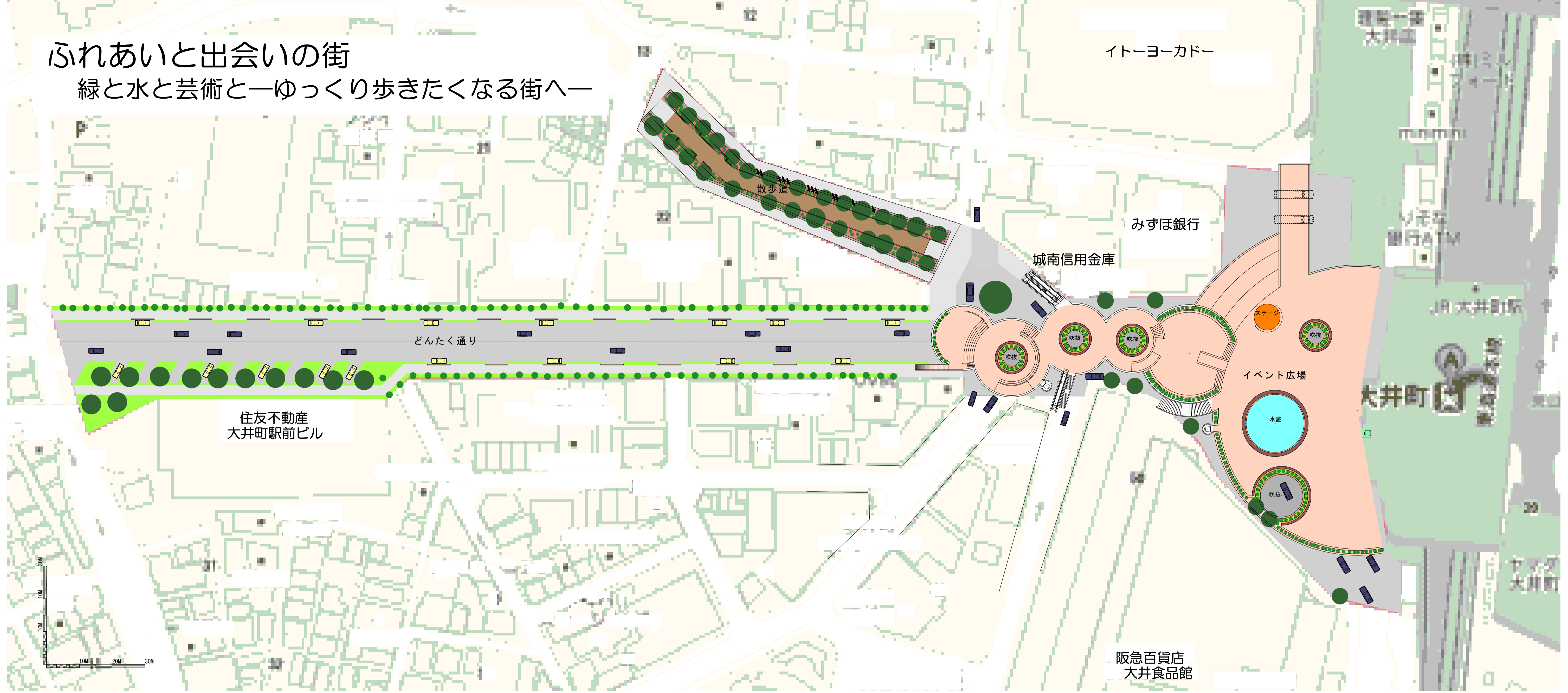


ふれあいと出会いの街 緑と水と芸術と—ゆっくり歩きたくなる街へ—



- ・人は人を見て楽しむ チョットー休みそが楽しい場所に
ストリートコンサート 大道芸 フリーマーケット
オープンな展覧会など歩いていても足を止める場所
- ・場の繋がり 人の流れ
現在、きゅりあん側ペDESTリアンデッキとどんたく通りとの
繋がりが少ない。同じレベルすることで連続性を持たせる
- ・祭りの場
どんたく祭りのある日は特別な日です。
お祭りのない普段の日でも、歩いていて殺風景なアスファルト
ではなく、石畳、建物前の連続する樹木という趣のある道とする
- ・人のための道 自然に包みこまれるような感じ
立会道路は自動車通行禁止 緑のトンネルの散歩道

～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

ふれあいと出会いの街
緑と水と芸術と ーゆっくり歩きたくなる街へー

■提案要旨

大井町

便利さだけの街ではなく、ビルが建ち並ぶところでも、四季を感じるような、ワクワク 感動するような、歩いていて楽しいような人の為の場所がほしい

- ・きゅりあん側のペデストリアンデッキとどんたく通りまでの繋がり、流れがスムーズではないように思えたので、ロータリー一部分に空中公園を設けきゅりあん側と連続性を持たせることとしました。空中公園は通行の為だけではなく、緑があり、水(水の天井、ゆらぐ光の水盤)が自然や、コンサート(階段状広場)、展覧会や彫刻の設置などもっと芸術文化が身近なものとなっていくようにしたり、進んでイベントを行うことで足を止めて楽しんでもらえるようにスペースです。

- ・どんたく通りは全面石畳、道路境界沿いに樹木を植え、雑多な外壁の意識を少しでも感じさせないことし、広い通りを眺めていても飽きのこない景観とし、どんたく祭りは、空中公園からも見物できるようになっている。

- ・立会道路は、駅よりの抜け道的な感じがあり安全性にも疑問を持ち、歩道も狭いし、ということで自動車を通行禁止とし、段葛のイメージで緑のトンネルの中を楽しく歩ける歩行者の道とする。

- ・駅前という都会の中に少しでも、自然を取り込むことを考えました。

買い物の帰り、仕事の帰り 疲れを癒すのにちょっと歩いてみよう。

行き交う人々が多ければ、「人は人を見て楽しむ」ということをするでしょう。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。